

読んで
学べる
NIE

500円貨幣の
千円銀貨幣、
沖縄県分

「那覇大綱挽」と「エイサー」

記念し発行する記念貨幣と

「首里城」と「組踊」

首里城カラーで

復帰40年テーマ記念硬貨

財務省は7日、地方自治法が始まって60周年を記念し発行する記念貨幣として、沖縄県分の千円銀貨幣、500円貨幣の「那覇大綱挽」と「エイサー」をデザインを発表した。どちらも硬貨で、来年の本土復帰40周年がテーマ。千円硬貨は「首里城」と「組踊」、500円硬貨は「那覇大綱挽」と「エイサー」がデザインされた。

千円硬貨は銀貨に色を塗ったカラーコインで、発行枚数は10万枚。販売価格は6千円。12年3月ごろから申し込みを受け付ける。銅や白銅、ニッケル黄銅などでできた500円硬貨の発行枚数は今後、正式に決める。12年7月ごろから金融機関などで引き換えが始まる。



表面（正面）

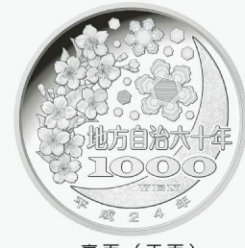


裏面（正面）

那覇大綱挽とエイサーがデザインされた500円硬貨



表面（正面）



裏面（正面）

首里城と組踊がデザインされた千円硬貨

が描かれている。

デザインは県が2010年11月から年末にかけて募集し、検討委員会で選定し国に提出。沖縄の歴史や伝統文化、心豊かな人の和、地域の和をイメージした。